

推薦者

六十年度 執行委員長

副執行委員長

学術部門長

文化部門長

体育部門長

新歓祭実行委員会委員長

東薬祭運営委員会委員長

新聞会会長

同好会会長

- 池田 義明
- 内田 拓志
- 荒牧 巳南子
- 福本 折也
- 関澤 裕之
- 川島 聡
- 吉崎 辰之
- 桑原 清一
- 須藤 雅之
- 江藤 宏範

ぜひ投票を!

選挙管理委員会委員長

比留田 俊也



例年の不備から学び、より良い選挙にしたいと思えます。しかし、何といつても選挙は皆さんの投票なくしては成り立ちません。必ず投票して下さい。お願いします。三分とかりません。今回は、対立候補がおりませんので全て信任投票となります。投票手順は次の通りです。

- ①選挙会場から出張所へ行きます。
- ②学籍番号・氏名のチェックを受けて下さい。
- ③渡された投票用紙の「信任」「不信任」に丸をつけます。
- ④③の用紙を投票箱に入れて下さい。

以上で終わります。

選挙会場は、G階ホールと部室棟1F自治委員会室、学内出張所。

日程は、五月二十七日(火)・二十八日(水)・二十九日(木)の十二時四十分から十六時三十分です。

投票日

- 5月27日(火)
- 5月28日(水)
- 5月29日(木)

投票所

- G階ホール
- 学生部室棟自治委員会室
- 学内出張所

自治会活動を 見直す

今回もあわただしい中で自治会選挙が始まった。例年のことながら、学生自治会に対する東薬生の関心度は低く、投票率も選挙成立ギリギリの五十%程度にとどまっている。自治会選挙は、全員加盟制自

治会の代表となる執行委員長、そして補佐役の副執行委員長を決めるものである。ということは東薬の学生の頭を选出するものと言っても過言ではない。執行委員会の役割等が学生に十分理解されていないという背景もあるだろうが、それにしても自治会会員としての学生間の統一制は相変わらずである。例年、対立候補もなく、自治会選挙が信任投票でいつの間にか終わってしまふことが盛りに上がりに

欠ける原因にもなっている。しかし、世代の相違に伴う、自治会活動全般の機能の低下も見逃せない。時代とともに自治会自体の存在意義が薄れていき、学生気質の変化とともに、現在、自治会活動の活発な大学は少ないという。しかし、現在、とりあえず必要なのは学生一人一人がもう一度自治会というものを、見直し、東薬自治会員として、選挙に参加するという義務を果たすことであろう。

あなたの一票を 学生自治会信任投票

副執行委員長 立候補者

04082

境二三枝



発行所
東京薬科大学
学生新聞会
八王子市堀ノ内
1432-1



号外

今年度、副執行委員長に立候補しました境二三枝です。集団の生活には、常に個人の自由が制限されていきます。自由という言葉には二つの意味があり、一つは人間の性を重視した自由で、もう一方は他人を侵害する自由です。前者は制限されるべきであることや、自由に関する問題に触れる場合の対処については、経験的に学んできました。

東京薬科大学キャンパスという領域内にも、大学関係者がなる一種の集団生活が存在しています。その集団内での立場は学生側、大学側などと分かれており、学生間のみならず、学生側と大学側との間で自由な要求が生じ、それが問題になってきます。双方の立場を理解し、その自由の本質が結果的に両者に良い影響を与えるようにするには、それによって悪影響を及ぼす問題の存在とこの見方をすれば、軽く流すことはできません。学生が大学生活には有効性にポイントを置くには、多くの問題が生じてくるでしょう。つまり、個人的には直接関係なくとも、集団の立場から問題の意識を持つのではないかと考えます。学生個々の大学生活の有効性は東薬の将来にも影響を与え、その結果、本質を共に考え、さまざまな問題を共に改善することに役立ちたいと思います。



昭和四十一年三月二十六日、福岡県福岡市に三人兄妹の末子として生れた。四歳で小倉カトリック幼稚園に入園。幼稚園時代はとももとなしの子供だったが、この頃から無断欠席の名人で、週休三日制の生活を送っていたという。現在もそうであるが、当時から動物(犬・猫など)が好きで、心の優しい子だった。明治学園小等部から同中等部へと進み、昭和五十六年四月、同学園高等部に進学。高専時代は、歴史、ドイツ語、文芸、なぞをたぐ、多様な文化の活動を体験。なごなごなで、武進館での全国大会にも出場した。公式戦初試合が全国大会だったというエピソードもある。昭和六十一年四月、東薬に入學し、現在に至る。大学では、図書部と企画研究会に所属。活躍中である。教養実習にも非常に興味を持っており、某教室で大の散歩などをしている。教室の人気者だそうである。趣味は散歩。散歩に出ると二、三時間は帰って来ないと小学生のときに、六時間の記録がある。また、コンビューターにも興味を持っていて、そのうち、真面目な面となかなかユニークな面を兼ね備えた境二三枝をよろしく願っています。

あなたも自治会員
必ず投票しましょう

あなたの一票を 学生自治会信任投票

執行委員長 立候補者

01208

浜田真向



発行所
東京薬科大学
学生新聞会
八王子市堀ノ内
1432-1

号外

私が、今年度東京薬科大学学生自治会執行委員長に立候補しました。浜田真向です。今、東京薬科大学内では大きな問題意識を感じておられる方が多く、その中には、和やかなるうちに多くのみなさんが学生生活を送っていかざるを得ない状況に置かれています。東薬では他大学にはない、東薬であるからこそできるこの全員加盟制の学生自治会が存在している事で、大学側と学生との意思の疎通が行われ、意外に大きい効果をもたらしていると思います。そういった点から言えば現在の東薬は良い点となるかもしれせん。しかしこの良い効果を学生みなさんが意識する事なく自治会が存在を遠ざけようとするならば、大学側と学生との間は知らぬうちに広がり、両者の意思に反して双方にとって一方的なものとなってしまいかねない。近年東薬自治会も新たな岐路にあるかも知れません。こんな事ばかりは自治会を前へ向かって広げていくべき私たちが執行委員会も力を尽くし、学生みなさんの協力を得て私も執行委員長としてがんばってみたいのです。

具体的執行委員会の活動としては、クラブ、同好会活動、新歓祭実行委員会主催の各行事、予算委員会としての各委員会のクラブ、同好会の予算案の作成があります。さらには、掲示物、発行物に関する事務処理、部室棟や学生駐車場の管理などあります。これは真に、大学側と自治会との信頼関係の内にあるもので、過去から得てきた学生自治会の良さなのです。今年度もより前進する自治会を目指し、学生みなさんの協力を得るため、自治会ニュースやアンケート調査、自治会箱の利用を通じ皆さんの意識しやすい参加しやすい学生自治会をつくっていききたいと考えています。そして私が執行委員長として学生駐車場問題やパス通字問題、さらには教務関係問題より良く改善できるように実現していききたいと思っております。この様に前進する自治会運営をより一層活性化し全執行委員ともども私も執行委員長としていききたいと思っております。どうかよろしく願っています。



昭和四十年、星のまたたく暑い暑い夏の八月二十四日、牛乳配達のお兄さんがガチャガチャ牛乳びんを鳴らして村を歩き回っている早朝午前四時のこと、浜田真向は、美人が多いと有名な秋田県本荘市の片隅でキラ星浜田家の長男として生まれた。三才にて自宅経営の保育園に入園、神童のかけらも見せず、十六才になると本荘南中学校に入学した。と共に思春期に突入したが、恋愛話のひともなく、数々の苦悩を乗り越え県立本荘高校に合格する。昭和六十一年、一年間のボランティアを克服し、東薬に合格し現在に至る。中、高時代にバスバンド部に所属。そのまま大学入學後も、ハルモニオ管弦楽団で活躍中。ゴットラフスのパーテを担当。ガツリリした体と素晴らしいバスケットボールの素質は、そのハルモニオが素晴らしいと評判であり、その趣味は読書である。日本酒の達人。酒を飲むと、日本酒の達人から贈られたお酒は喜んで飲みます。酒大好きな浜田真向をよろしく願っています。

あなたも自治会員
必ず投票しましょう

プロフィール

プロフィール